

ご自由に
お持ち帰りください

平成25年
3月期

110期
事業のご報告

ミニディスクロージャー誌

TOHOからのお知らせ

T O H O M I N I R E P O R T 2 0 1 3



すべてを地域のために

東邦銀行

目次

C O N T E N T S

- 01 ごあいさつ
- 02 経営方針
- 03 中期経営計画「東邦“一步一步”計画」
- 04 業績ハイライト
- 05 損益の状況
- 06 預金・貸出金の状況
- 07 貸出資産の状況
- 08 ふくしま復興への取組み
- 10 個人のお客さまへの取組み
- 12 法人のお客さまへの取組み
- 14 CSR(企業の社会的責任)への取組み
- 15 株主の皆さまへの取組み
- 16 特集
 - 新島八重のゆかりの地を訪ねる(会津若松市)
 - 福島を創る 宗像利浩(会津本郷焼)
- 19 TOHO ギャラリー
- 20 平成25年3月期 決算のご報告
- 21 平成25年3月期 決算のご報告(連結情報)



プロフィール

(平成25年3月31日現在)

P R O F I L E

設 立 ◎昭和16年11月4日
本店所在地 ◎福島市大町3番25号
店 舗 数 ◎本支店114カ店
(福島県内105、県外8、インターネット支店1)
資 本 金 ◎235億19百万円
従 業 員 数 ◎1,983人
総 資 産 ◎4兆6,665億円
総 預 金 ◎4兆4,348億円
貸 出 金 ◎2兆4,669億円



ふるさと福島の復興、そして新たな成長に向け、
しっかりと施策を明示し「一步一步」
着実に実行してまいります。

取締役頭取 **北村清士**

皆さまには、日頃より東邦銀行グループをご利用、お引立ていただきまして、誠にありがとうございます。

本年もここにミニディスクロージャー誌「TOHOからのお知らせ」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当行の主たる営業基盤である福島県内の経済につきましては、東日本大震災および原子力発電所事故からの復旧・復興に向け官民が一体となって取組んできたことにより、住宅投資や設備投資が高い水準で推移するなど、少しずつですが復興への槌音が聞こえております。

このような中、当行では平成24年4月から平成27年3月を計画期間とする中期経営計画「東邦“一步一步”計画」（“ステップ・バイ・ステップ”プラン）に取組んでおります。今回の計画では、「復興に向けた福島への貢献」を基本方針の第一の柱としており、東日本大震災や原子力発電所事故により甚大な被害を受けた方々への復興支援や、今なお続く風評被害の払拭など、福島県の復興、そして新たな成長に向けた取組みを全力で進めております。

また、震災以降劇的に変化している経営環境の中で、当行の更なる成長と確固たる経営基盤を確立するためにも、「成長戦略の着実な遂行」と「経営体質の更なる強化」を基本方針に掲げ、福島県の復興・発展に向けた資金需要に加え、福島県が復興の柱に位置づける医療関連分野や再生可能エネルギー分野などに対して積極的にご融資を行うとともに、事業再生支援など地域金融の円滑化にも継続的に取組んでおります。

また、屋内遊び場「とうほう わんぱくランド」の設置や、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」福島大会の開催など未来を担う子どもたちの育成を支援するとともに、「点字通知サービス」などによる障がいをお持ちの方々への金融取引支援、加えて役職員や家族による継続的な植林活動（「とうほうの森」づくり）など環境保全活動にも積極的に取組んでおります。

私ども東邦銀行グループは、「福島の復興なくして当行の発展なし」の考えのもと、地域の復興のためにグループ一丸となって地道に汗を流し、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。そして、ふるさと福島の復興、そして新たな成長に向け、しっかりと施策を明示し「一步一步」着実に実行してまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

企業理念

社会的使命

地域を見つめ、 地域とともに

私たちは、地域を見つめ、地域とともに歩み、総合的な金融サービスをもって「ふくしま」の発展とお客さまの豊かなくらしづくりのために力を尽くします。

経営姿勢

お客さまの 満足のために

私たちは、進取・積極の精神と健全な姿勢を基本とし、心が通いあう活きた組織をもってお客さまの満足のために汗を流します。

行動規範

新しい感覚と 柔軟な発想をもって

私たちは、ふるさと「ふくしま」を愛し、新しい感覚と柔軟な発想をもって自分を磨き、お客さまの信頼に応えることを喜びとします。

コーポレート・メッセージ

すべてを 地域のために

東邦銀行は、コーポレート・メッセージである『すべてを地域のために』の考えのもと、当行を日頃支えていただいているお客さま、株主の皆さま、そして地域の皆さまとともに歩み、ふるさと「ふくしま」の復興のために、総力をあげて取組んでまいります。

行動指針

私たちの 「いちばん」宣言

1. ふるさとを愛する心がいちばん
2. お客さまの笑顔がいちばん
3. 仲間を思い、みんなで考えるのがいちばん
4. しなやかな発想、はっきりした主張がいちばん
5. プロとしての責任ある仕事がいちばん
6. 現場からの声がいちばん
7. がんばった人がいちばん

中期経営計画「東邦“一步一步”計画」

東邦銀行グループでは、長期目標「大きく・強く・たくましく」の中で、創立75周年(平成28年度)における当期純利益100億円以上を目指しておりますが、その達成に向け、平成24年4月1日より、計画期間を3年間とする中期経営計画「東邦“一步一步”計画」(“ステップ・バイ・ステップ”プラン)をスタートさせました。

中期経営計画では、当行が今後3年間に進むべき方向性を具体的に示しており、「福島の復興なくして当行の発展なし」の考えのもと、「復興に向けた福島への貢献」を最優先事項として対応するとともに、当行の新たな成長戦略を遂行し、地域とともに“一步一步”着実に前進してまいります。

長期目標 ～創立75周年に向けて～

〈目指す銀行像〉
 **大きく・強く・たくましく**

～地域に熱く・お客さまに誠実に・人を大事に～

(商標登録 第5238791号)

創立75周年(平成28年度)

当期純利益

100億円以上を目指す

中期経営計画

東邦“一步一步”計画 (“ステップ・バイ・ステップ”プラン)

～未来を見据え、着実な「前進」を～ 計画期間:平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)

主要勘定目標(平均残高) [平成26年度目標]

- 総預金 …………… 4兆円以上
- 総貸出金 …………… 2兆5千億円以上

基本方針

経営指標目標

[平成26年度目標]

- コア業務純益^(※1) ……150億円以上
 - 当期純利益 …………… 80億円以上
 - 自己資本比率 …………… 11%以上
- [福島県内]
- 預金シェア^(※2) ……45%以上
 - 貸出金シェア^(※3) ……42%以上

I. 復興に向けた福島への貢献

- 「福島の復興なくして当行の発展なし」の考えのもと、最優先で復興支援に取り組む。
- 復興に向けた金融の円滑化、復興支援事業への積極的な参画などにより、福島の復興・発展のため従業員全員が汗を流す。

II. 成長戦略の着実な遂行

- メイン化推進・裾野拡大による預貸金の増強および有価証券運用力の強化により、更なる成長を目指す。
- お客さまに適した金融サービスの提供により、役務取引等利益などの強化を図る。
- 重要マーケット・重点分野へ大胆に経営資源を投入するとともに、営業の原点に立ち返り一步一步で稼ぐ。

III. 経営体質の更なる強化

- 人材育成および権限委譲の拡充により、「自ら考え、自ら行動する」企業風土を確立し、一人ひとりが積極的に考動する組織へ変革する。
- 営業店業務改革・本部業務効率化により、営業活動に特化できる人員を創出する。

法令等遵守・リスク管理態勢の強化

(※1)実質業務純益-債券関係損益、(※2)ゆうちょ銀行・農協を除く、(※3)農協・政府系金融機関を除く

業績ハイライト

25年3月期、当行は安定的な収益および十分な健全性を確保し、皆さまからの高い信頼を得ています。



自己資本比率(単体)

銀行の健全性をあらわす自己資本比率は11.09%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。

銀行経営の健全性を測る上で重要な指標となっている自己資本比率(単体)は11.09%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。また、Tier1比率(中核的自己資本比率)は9.18%となりました。

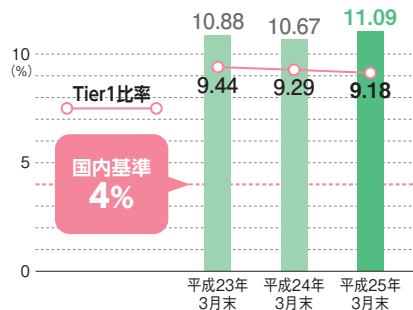
当行の格付け

投資適格水準との評価を得ています。

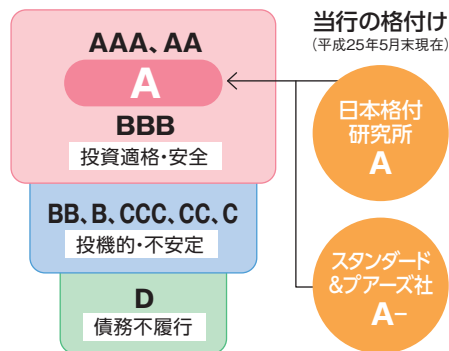
経営の健全性と安定性に関しては客観的な評価が大切です。「格付け」は、利害関係のない第三者である格付機関が企業の信用度や債務履行能力等を簡潔な記号で表したものです。最近では、企業の安全性を客観的に評価した指標として、広く知られるようになっております。

当行は、日本格付研究所から「A」の長期優先債務格付けを、またスタンダード&プアーズ社より「A-」の長期発行体格付けを取得しており、いずれも投資適格水準となる評価を得ております。

自己資本比率の推移(単体)



格付け

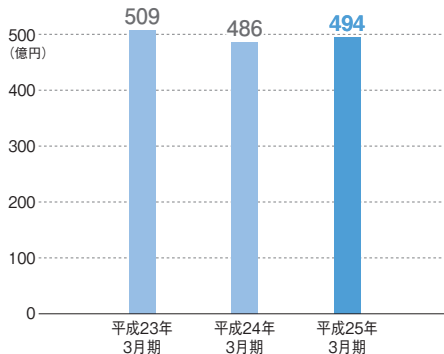


損益の状況

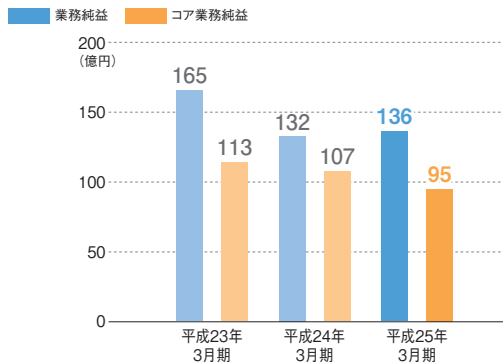
経常利益、当期純利益ともに公表業績予想を上回る水準を確保しました。

効率的な有価証券運用による国債等債券売却益の増加、預かり資産販売の好調な推移による役務取引等収益の増加などにより、業務純益は増益となりました。また、経営支援への取組み強化による不良債権処理額の減少もあって、経常利益・当期純利益は増益となりました。

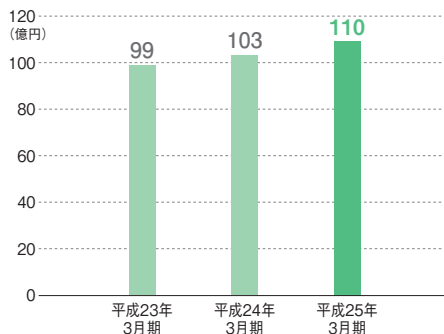
業務粗利益



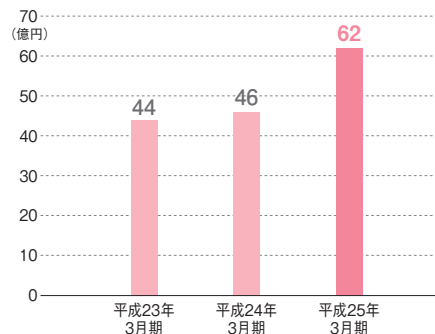
業務純益・コア業務純益



経常利益



当期純利益



Tier1比率

自己資本比率における自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金の基本的項目(Tier1)と、一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier2)とに区分されます。Tier1比率は、補完的項目(Tier2)を除く中核的な自己資本比率と言えます。

自己資本比率

自己資本比率は銀行の信用度、健全性を示す重要な指標です。海外で業務を営む銀行は8%以上(国際統一基準)、当行のように国内のみで業務を営む銀行は4%以上(国内基準)を維持することが義務づけられています。

業務純益・コア業務純益

業務純益は、銀行本来の業務(資金の運用・調達、サービスの提供等)でどれだけ利益をあげたかを表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当します。コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益の影響額を除いた利益です。

預金・貸出金の状況

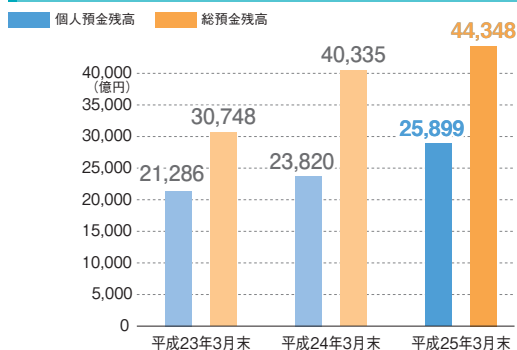
総預金・預かり資産

総預金残高は、4兆4,348億円となりました。

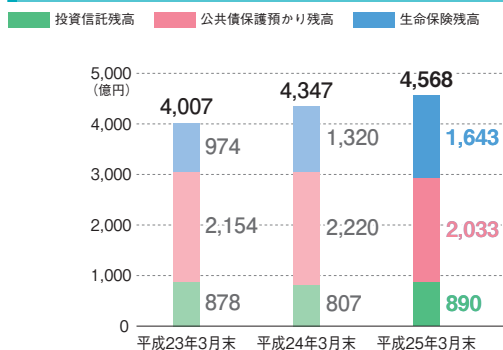
預金増加に努める一方、復興関連資金の流入等もあったことから、譲渡性預金を含めた総預金残高は、4,013億円増加し4兆4,348億円となりました。個人預金残高については、2,078億円増加し2兆5,899億円となりました。

預かり資産残高は、投資信託・生命保険残高の増加を主因として、全体で220億円増加し4,568億円となりました。(平成24年3月末比)

総預金(譲渡性預金含む)・個人預金残高の推移



預かり資産(投資信託・公共債・生命保険)

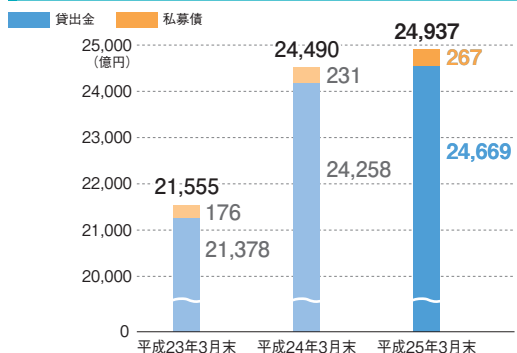


貸出金

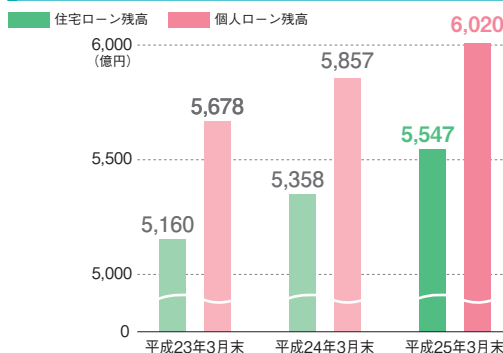
貸出金残高は、2兆4,669億円となりました。

震災以降の資金需要に幅広くお応えした結果、410億円増加し2兆4,669億円となりました。貸出金+私募債は、446億円増加し2兆4,937億円となりました。(平成24年3月末比)

貸出金+私募債の推移



個人ローン残高の推移



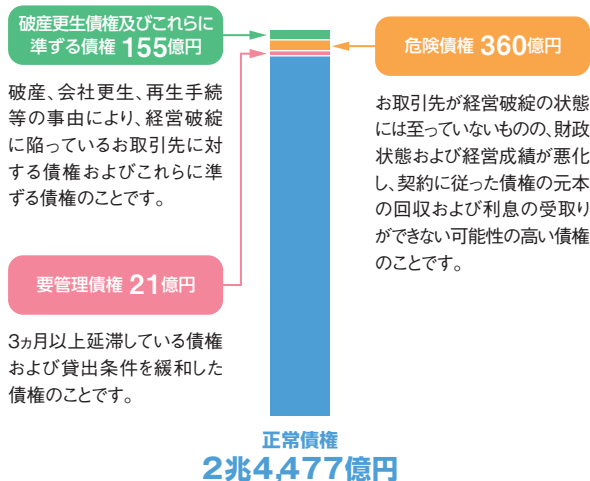
貸出資産の状況

貸出金については、十分な引当を行い健全性の確保に努めています。

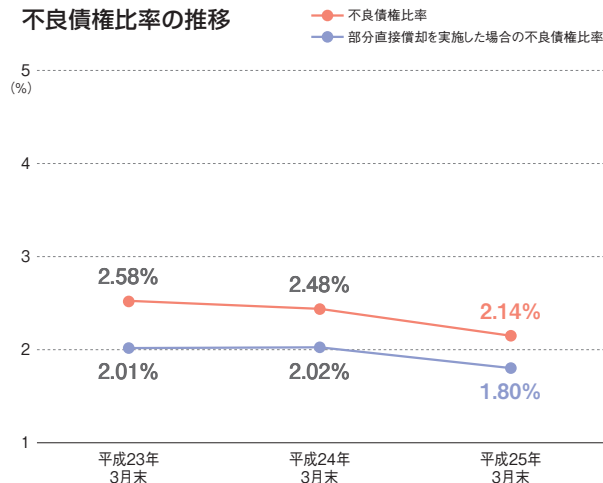
金融再生法に基づく資産査定の結果、貸出金・支払承諾見返等の総与信のうち正常債権以外の債権は、72億円減少し537億円となりました。これらの債権については、担保等により保全を図るとともに、必要な部分については貸倒引当金により十分な引当を行い健全性の確保に努めています。(平成24年3月末比)

(注)なお、当行では部分直接償却を実施していませんが、実施した場合の正常債権以外の債権は450億円となります。

金融再生法開示債権



不良債権比率の推移



金融再生法開示債権の保全状況

(単位:億円)

区 分	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率		
			担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	155	155	58	97	100.0%
危険債権	360	259	190	69	72.1%
要管理債権	21	11	9	2	53.8%
合 計	537	427	257	169	79.4%

金融再生法開示債権

金融再生法(正式名称「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」)に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しております。対象債権は私募債、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返及び使用貸借又は貸借契約により貸し付けた有価証券です。

部分直接償却

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の担保・保証付債権について、債権額から担保の評価額及び保証等により回収が可能と認められる額を差し引いた残額を、貸倒償却として債権額から直接減額することです。

ふくしま復興への取組み

復興資金の提供

東日本大震災および原子力災害で被災されたお客さまを支援するため、復興資金需要に対し積極的にお応えしてまいりました。

震災関連制度資金の実績(累計)

	23/9末	24/3末	24/9末	25/3末
事業者向け (件数)	593億円 (2,190件)	906億円 (3,684件)	923億円 (3,815件)	950億円 (3,978件)
個人向け (件数)	3.9億円 (287件)	5.2億円 (400件)	5.9億円 (448件)	6.3億円 (475件)

復興支援私募債の引受け

復興、再建に取り組んでいる企業が発行する社債の元利金支払を当行が全額保証し、かつ総額を引き受ける「東邦・復興支援私募債」を創設し、当行所定の金利から最大で年0.2%引き下げるなど、金融面で支援しております。

成長産業の支援

福島県が復興の柱に位置づける再生可能エネルギー分野や医療関連産業など、成長産業の創出・集積に向けた動きが活発化しており、そうした動きを一層加速させるため、「東邦・再生可能エネルギー発電事業ローン」や「東邦・医療福祉機器関連事業ローン」を創設しております。

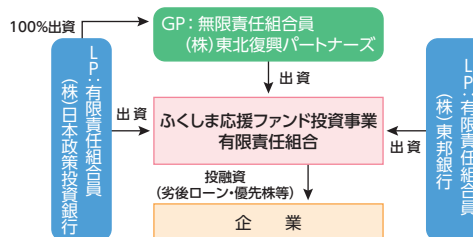


復興支援ファンドの活用

復興支援ファンド「ふくしま応援ファンド^(※)」や「東日本大震災中小企業復興支援ファンド」などの活用を通じて、地域金融の円滑化に積極的に取り組んでおります。

※劣後ローンや優先株等を活用したニューマネーを提供することにより、本格復興まで継続的に支援する復興ファンドです。

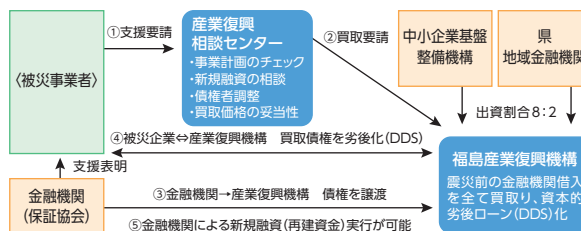
「ふくしま応援ファンド」のイメージ図



二重ローン問題への対応

東日本大震災および原子力発電所事故により甚大な被害を受けられたお客さまに対し、「二重ローン問題」の解決を図るため、震災前の既存のお借入れについて福島産業復興機構および東日本大震災事業者再生支援機構による買取制度を活用するなど本格的な事業再開を支援いたしました。

「福島産業復興機構」のイメージ図



福島県との包括連携協定締結

福島県の一層の地域活性化および県民の皆さまへのサービス向上に資することを目的として、平成24年12月に福島県と10分野からなる包括連携協定を締結いたしました。

<提携内容>

- ・東日本大震災からの復興及び災害対策に関すること
- ・再生可能エネルギーの推進、医療産業集積に関すること
- ・県の経済活性化に関すること
- ・県産品の販売・振興に関すること
- ・地域・暮らしの安全・安心に関すること
- ・高齢者・障がい者の支援に関すること
- ・子ども・青少年の健全育成に関すること
- ・環境保全に関すること
- ・観光の振興に関すること
- ・その他地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること

福島県産品の風評被害払拭・販路拡大支援

復興支援通販事業・商談会の開催

県内の食品関連事業者の皆さまの販路拡大を支援するため、当行オリジナルの復興支援通販事業を企画・協賛しております。平成24年4月からは、第3弾として「ふくしま市場うつくしま良品本舗」の取扱いを開始。通販事業開始以降、累計販売個数7万3千個、累計販売金額2億48百万円を超えるなど、全国の皆さまの心温まるご支援をいただいております。

また、お取引先のビジネスマッチング、販路拡大機会の提供を目的とした各種商談会、PR・販売イベントを全国的に展開しております。



避難されているお客さまの支援

福島県においては、現在も多くの方が避難生活を送っており、避難されているお客さまの利便性向上を図るため、平成24年7月より移動ATM車「ふるさと・ふくしま号」を稼働させるとともに、仙台駅構内へ通帳繰越機能を搭載した店舗外ATMの設置、地方銀行とのATM提携等を積極的に実施してまいりました。



屋内遊び場「とうほう わんぱくランド」の一般開放

原子力発電所事故の影響により、子どもたちが安心して屋外で遊ぶ機会が失われている状況を踏まえ、当行研修センターの室内野球練習場を屋内遊び場として整備し、平成24年7月より無料で広く一般の方に開放しております。



個人のお客さまへの取組み

ライフステージ



「あつまれ 元気なふくしまっ子!」の実施

「ふくしまの将来を担うお子さまに当行と末永くお付き合いいただきたい」との思いを込め、18歳の以下のお客さまで新規に普通口座をご開設いただいた方全員に景品をプレゼントしております。



Alwaysカードの取扱い

クレジットカードとキャッシュカードが一枚になった「Alwaysカード」は、ICチップ搭載によりセキュリティにも優れておりますので安心してお使いいただけます。

4色から選べる一般カードのほか、ゴールドカードもご用意しております。

当行では、今後も多様化するお客さまのニーズに応じたさらなるサービスの向上に努めてまいります。



ローン専門店の拡充

福島県内の各主要都市を中心にローン専門を設置し、平日の営業時間を延長するとともに、土曜日・日曜日も営業しております。平成24年度には、郡山市といわき市にそれぞれ2店舗目となるローン専門店を設置いたしました。

店名
ローンプラザ福島支店
郡山ローンセンター(新さくら通り支店内)
八山田ローンセンター(八山田支店内)
ローンプラザ須賀川支店
白河ローンセンター(新白河支店内)
ローンプラザ会津支店
いわき平ローンセンター(平支店内)
いわき鹿島ローンセンター(いわき鹿島支店内)
仙台ローンセンター(仙台支店内)

各種年金サービスの取扱い

当行で年金をお受け取りいただいているお客さまを対象に、金利上乗せ定期預金「スーパー年金定期Ⅱ」や公的年金振込日における「お楽しみプレゼント」等、様々なサービスをご用意しております。



各種ATMサービスの展開

1. 当行ATM 利用手数料の無料化

当行のATMでは、平成25年4月1日より当行のキャッシュカードをご利用の場合、ATM利用手数料が「いつでも」「誰でも」「何回でも」無料でご利用いただけます。

平日日中のご利用が難しいお客さまでも、平日のお仕事帰りや休日に手数料を気にされることなくご利用いただくことができます。



当行ATMのご利用時間と手数料（当行カードをご利用の場合）

お取引	曜日	7:00	8:45	9:00	15:00	18:00	21:00	22:00
お預入れ 定期お預入れ 通帳記入	平日				無 料			
	土曜・祝日				無 料			
	日 曜				無 料			
お引出し	平日				無 料			
	土曜・祝日				無 料			
	日 曜				無 料			
お振込み	現金	平日	所定の振込手数料					
		土曜・祝日	※店舗外コーナーでの現金によるお取扱いはできません。					
		日 曜						
	カード	平日	所定の振込手数料					
		土曜・祝日	所定の振込手数料					
		日 曜	所定の振込手数料					
お振替え	平日				無 料			
	土曜・祝日				無 料			
	日 曜				無 料			

2. 通帳繰越機能付ATMの設置

お客さまからのご要望を踏まえ、お通帳の繰越ができるATMを順次展開しており、平成25年5月末時点で108コーナーに設置しております。

窓口にご来店されなくともコーナー営業時間内であればいつでもお通帳を繰越することができます。

※繰越できるお通帳：普通預金通帳、総合口座通帳



3. インストア型ATMの展開

平成24年9月より、商業施設や駅を中心にインストア型ATMを展開しています。インストア型ATMは、後方にメンテナンススペースがないため、従来よりコンパクトなスペースに設置することができ、スーパーの店内や駅構内等、よりお客さまの利便性の高い場所への設置が可能となりました。



法人のお客さまへの取組み

資金調達・企業戦略支援

「経営課題提案型営業」を積極的に展開しており、お客さまの各種経営課題に対し総合的なサービスをご提案いたします。

私募債

「東邦・復興支援私募債」「東邦・環境私募債」を積極的に引き受けしております。

シンジケートローン

シンジケートローンを組成し、複数行からの融資をお手伝いしております。

ビジネス・マッチング

各種商談会の開催、工業団地・流通団地情報のご提供などを行っております。

でんさい

株式会社全銀電子債権ネットワーク(略称「でんさいネット」)のサービス開始に伴い、「東邦でんさいサービス」の取り扱いを開始しております。

年金・退職金制度

確定拠出年金制度などの企業年金制度導入のお手伝いを行っております。

事業承継・M&A

自社株評価や事業承継スキームのご提案や、買収・売却・合併・提携などM&Aに関するアドバイスを行っております。

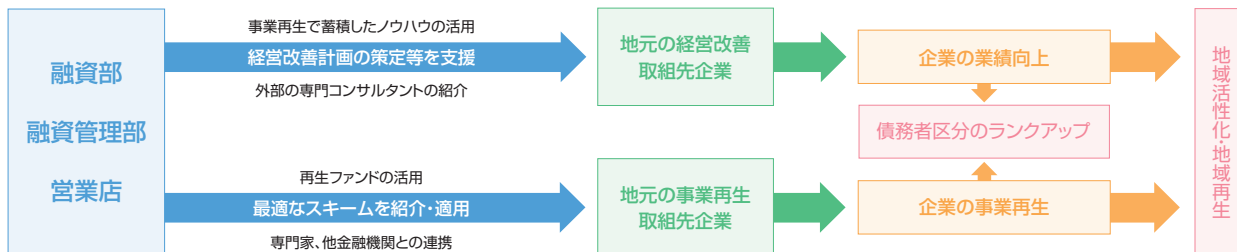


経営支援・事業再生支援

震災地域を含め、地域再生・地域活性化に寄与する事業再生・復興支援につきましては、様々な再生手法を活用し積極的に取組んでおります。

また、地域の面的再生につながる事業再生につきましても、ご相談があれば真摯に検討させていただいております。

経営・事業再生支援のイメージ図



貿易相談・海外進出支援

法人営業部内に「海外事業支援室」を設置し、お取引先の海外での事業展開を積極的に支援しております。



外国銀行との業務提携

地場の金融機関と提携し、海外進出を支援

●提携先

【韓国】SBJ銀行
【タイ】カシコン銀行
【インド】インドステイト銀行
【インドネシア】バンクネガラインドネシア

専門家との業務提携

会計・税務、海外リスク、国際物流、貿易保険、海外セキュリティ対策、海外情報など海外における様々なリスクに対応

●提携先

有限責任監査法人トーマツ
日本通運(株)
日本貿易保険(NEXI)
東京海上保証(株)
三井住友海上日動火災保険(株)
損害保険ジャパン(株)
大和証券(株)
ALSOK福島総合警備保障(株)
セコム(株)

次世代経営者支援

平成25年3月に、復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」を設立。当行のネットワークを最大限活用し、県内外企業が一堂に会する機会を創出、次世代経営者相互の人脈づくりと復興に向けた情報交換の場を提供するとともに、次世代を担う経営者の皆さまの幅広い知識・ノウハウ獲得を支援いたします。



CSR(企業の社会的責任)への取組み

障がい者の自立促進に向けた取組み

株式会社とうほうスマイルの設立

創立70周年記念事業の一環として、働くことを希望する障がい者の方々の“自立と社会参加の場の創出”を目的とした、東北の金融機関では初となる障がい者が中心に働く子会社「株式会社とうほうスマイル」を平成24年3月に設立いたしました。同社では現在11名の障がいを持つ社員が、印刷業務や名刺・帳票等の作製業務を行っております。



「点字通知サービス」の取扱い開始

視覚に障がいをお持ちのお客さまの金融取引を支援する目的で、「点字通知サービス」をお取扱いしております。本サービスでは、「預金取引明細通知」および「預金残高通知」を点字で印刷し、ご郵送によりお客さまへお届けしております。

未来を担う子供たちの育成

東邦銀行陸上競技部の活動

東邦銀行陸上競技部では、次代を担う子どもたちを対象とした陸上教室や福島県内の小中高生を対象としたリレー大会(東邦カップ「第1回 ふくしまリレーズ」)を開催するなど、地域のスポーツ振興に向けた活動を行っております。



「エコノミクス甲子園」福島大会の開催

平成24年12月、県内の高校生を対象に、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」福島大会を県内で初めて開催しました。

本大会は、高校生に金融経済の仕組みを楽しく知ってもらうとともに、地域経済の将来を担う人材の育成を目的に開催し、県内11の高校から参加した19チーム、38名の高校生が熱戦を繰り広げました。



環境保全活動

植林活動「とうほうの森づくり」の継続実施

福島県が推進する「企業^{もり}の森林づくり」制度を利用し、平成21年度より県内においてボランティアの役職員や家族による植林活動(「とうほうの森」づくり)を展開しております。平成24年10月には、耶麻郡北塩原村において植林を実施いたしました。



株主の皆さまへの取組み

株主優待制度「とうほう株主優待倶楽部」の取扱い開始

株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えするため、これまでの株主優待定期預金に加え、福島県宿泊施設をご利用いただけるご優待券を新たに実施し、株主優待制度「とうほう株主優待倶楽部」としてスタートいたしました。毎年3月31日現在で1,000株(1単元)以上お持ちの株主さまを対象に、以下の株主優待を行っております。

1,000株以上5,000株未満お持ちの株主さま

- 定期預金300万円までの金利上乗せ
- 福島県宿泊施設ご優待券 2,000円

5,000株以上お持ちの株主さま

- 定期預金300万円までの金利上乗せ
- 福島県宿泊施設ご優待券 5,000円



業況説明会(地元向けIR)の開催

地元の株主の皆さまやお取引先などを対象とした「業況説明会」を県内6地区で開催し、当行の経営方針や経営内容についてご理解いただくよう努めております。



株式についてのご案内

事業年度

当行の事業年度は、毎年4月1日から3月31日までの1年とします。

定時株主総会

毎事業年度終了後3か月以内に開催いたします。

配当金

期末配当の基準日は、毎年3月31日といたします。中間配当をする場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として配当いたします。

公告掲載方法

電子公告の方法により、当行ホームページに掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、福島市において発行する福島民報および福島民友ならびに東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

東邦銀行ホームページ <http://www.tohobank.co.jp/>

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

各種手続きのご案内

各種手続きのお申出先	証券会社等に口座をお持ちの株主さまの場合(証券会社等)	証券会社に口座を開設していない株主さまの場合(日本証券代行特別口座)
・住所変更 ・配当金受取方法の指定・変更 ・その他各種お手続き	お取引の証券会社にお申し出ください。 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。	(連絡先) 日本証券代行株式会社 代理人部 〒168-8620 東京都杉並区 和泉2-8-4 TEL 0120-707-843 (通話料無料)
・注意点	未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)でお支払いいたします。 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区 東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)	特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行為特別口座の口座管理機関となっておりますので、日本証券代行にお問合せください。 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお手続きできませんので、ご注意ください。

新島八重

ゆかりの地を訪ねる

会津若松市

今年の大河ドラマ「八重の桜」主人公は、
会津若松市出身の新島八重。市内には
八重や戊辰戦争ゆかりの地が点在し、大河ドラマ
館には撮影に使用した衣装などが展示されて
います。城下町を歩きながら、八重の過ごし
た時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



(掲載している内容は、平成25年5月1日現在のものです)
編集協力/株式会社進和クリエイティブセンター

会津新選組記念館

会津藩や新選組に関する資料を展示。八重が使ったものと同じスペンサー銃を始め、興味深い資料が揃います。
TEL0242-22-3049



七日町駅

七日町通り

会津支店

野口英世青春館

英世が負ったやけどの手術をした會陽院跡で、現在は1階がカフェ、2階が野口英世青春館になっています。

会津本町支店

竹田綜合病院支店



日新館天文台跡

白虎隊士も学んだ日新館の施設で、唯一今に残る遺構で往時を偲ぶことができます。

西若松駅



山本覚馬・
新島八重生誕の地碑

会津若松駅

ローンプラザ会津支店

滝沢支店

会津一之町支店

会津若松市役所支店



武者走りの石垣に、ハートの石を発見!

福島県立博物館

戊辰戦争で使用されたゲベル銃などが復元展示されています。
TEL0242-28-6000

茶室 鹿閑

月見櫓

鶴ヶ城

戊辰戦争で1ヵ月にも及ぶ籠城戦の末に開城した名城で、八重も銃を持ち戦に参加しました。現在は内部が博物館となっており、戊辰戦争や会津の歴史を学ぶことができます。
TEL0242-27-4005(会津若松市観光公社)



ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館

ドラマのセットを再現した館内には、衣装や小道具を展示しているほか、メイキング映像の放映なども行われています。
TEL0242-23-8228

御菜園

中央に心字の池を配した回遊式の借景園と薬草園があり、国名勝にも指定されています。



旧滝沢本陣

戊辰戦争時の会津藩本営となった場所。砲弾や刀傷などが今も残されています。
TEL0242-22-8525

白虎隊記念館

新選組や戊辰戦争などの資料約12,000点を展示しています。



飯盛山

白虎隊士が自刃した地で、白虎隊十九士の墓は訪れる人が絶えません。

大龍寺

山本家の墓があり、墓石の文字は八重の書と書われています。

會津藩校日新館

八重の兄・覺馬や白虎隊士など、会津藩士の子弟が学んだ場所で、現在は弓道や茶道など、各種体験のできる施設として利用されています。
TEL0242-75-2525



近藤勇の墓

天寧寺の裏手には、土方歳三が会津戦の折に仮埋葬したとされる新選組近藤勇の墓があります。

会津武家屋敷

会津藩家老西郷頼母邸や旧中畑陣屋、茶室などが立ち並び総合ミュージアムパーク。
TEL0242-28-2525

会津藩主松平家廟所

松平家の歴代藩主が眠り、国の史跡にも指定されています。

福島を創る

略歴

- 1957年 会津美里町に生まれる
- 1997年 日本陶芸展で自らの名から「字」をとり命名した利録（じりく）で準大賞受賞
（2003年文部科学大臣賞、2007年より招待）
- 2005年 宗像窯八代目当主を継承する。
- 2007年 現代陶芸への招待 日本とヨーロッパ展 招待 兵庫陶芸美術館
- 2010年 バリ個展「エヌバス・イセ・サンジェルマン」
- 2013年 東大寺に抹茶碗奉納
日本工芸会正会員
- 現在 福島大学客員教授（福島大学芸術による地域創造研究所）

登り窯の復興と本質への挑戦

宗像 利浩 — 会津本郷焼 —



会津本郷焼は、文禄二年（1593）

に利休の高弟、七哲の一人である蒲生氏郷公が会津若松の鶴ヶ城主の頃から始まりとされています。16ある窯元の一つ宗像窯は、六代



柿の蒂（へた）茶碗
会津の歴史と風土の中から生まれた侘びの抹茶碗

目の時にニシン鉢がブリュッセル万国博覧会でグランプリを受賞し、近年ではパリで個展を開催するなど国内外で活躍しています。

登り窯は東日本大震災で大きな被害を受けましたが、棚倉町出身の大塚孝義氏が『宗像窯登り窯再生プロジェクト』を立ち上げ、土木技術者を始めAGFなど多くのご支援のもと修復が始まりました。また今年1月21日には東大寺北河原公敬別当様のご来訪を頂き、登り窯の復興祈願式が執り行われ、5月には初窯を迎えました。

「焼き上がりの段階では、どんなに優れたものでも本質を見せてはくれません。本質を持つ作品は、

優れた使い手に長い間大切に使用されることによって名品になっていきます。本物は一見平凡に見えるものです。そこで本質を見抜く目が要求されるのです」と宗像さんは作陶への思いを話されました。



江戸時代中期に作られた登り窯は、町の文化財にも指定されています

☎ 宗像窯 TEL 0242-56-2174
<http://www.munakatagama.net/>

ざんし
残滓牧景第二章 齋 正機

1日、歩き回った帰り道、

父親の背中で寝てしまった情景。

少しだけ肌寒い夕方、抱っこで

暖かくなり、寝てしまったのだ。



『寝てしまッタ』P4 (33.3×22cm) 日本画 2011年制作



齋 正機 (さい まさき)

1966年 福島県 福島市生まれ
1992年 東京藝術大学 美術学部
絵画科 日本画専攻 卒業
1994年 同 大学院 修了

平成25年3月期 決算のご報告

第110期末(平成25年3月31日現在)貸借対照表

(単位:百万円)

科 目 (資産の部)	金 額	科 目 (負債の部)	金 額
現金預け金	455,683	預 金	4,068,247
コールローン	325,783	譲渡性預金	366,638
買入金銭債権	6,110	借 用 金	31,460
商品有価証券	780	外国為替	193
金銭の信託	30,825	その他負債	15,916
有価証券	1,340,927	退職給付引当金	10,940
貸 出 金	2,466,952	役員退職慰労引当金	447
外国為替	1,440	睡眠預金払戻損失引当金	353
その他資産	9,309	偶発損失引当金	259
有形固定資産	36,208	ポイント引当金	95
無形固定資産	2,971	再評価に係る繰延税金負債	3,698
繰延税金資産	4,315	支払承諾	5,048
支払承諾見返	5,048	負債の部合計	4,503,298
貸倒引当金	△19,781	(純資産の部)	
		資 本 金	23,519
		資 本 剰 余 金	13,653
		資 本 準 備 金	13,653
		利 益 剰 余 金	107,643
		利 益 準 備 金	9,679
		その他利益剰余金	97,964
		自 己 株 式	△156
		株 主 資 本 合 計	144,660
		その他有価証券評価差額金	17,952
		土地再評価差額金	664
		評価・換算差額等合計	18,617
		純資産の部合計	163,277
資産の部合計	4,666,575	負債及び純資産の部合計	4,666,575

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表とは

期末における資金の運用・調達の状況等を示します。

損益計算書とは

1年間の営業の結果、どのように利益が生じたかを示します。

[資産の部]

企業や個人へのご融資である「貸出金」、債券や株式での運用を表す「有価証券」、短期金融市場での運用を表す「コールローン」などの資金の運用状況を表しています。

[負債の部]

「預金」等、主に資金の調達状況を表しています。

[純資産の部]

株主の皆さまからのご出資である「資本金」や、これまでの利益の蓄えである「剰余金」等を表しています。

第110期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	60,782
資 金 運 用 収 益 (うち貸出金利息)	42,330 (32,676)
(うち有価証券利息配当金)	(9,304)
信 託 報 酬	0
役 務 取 引 等 収 益	11,021
そ の 他 業 務 収 益	4,940
そ の 他 経 常 収 益	2,490
経 常 費 用	49,688
資 金 調 達 費 用 (うち預金利息)	2,375 (1,771)
役 務 取 引 等 費 用	5,395
そ の 他 業 務 費 用	1,089
営 業 経 費	36,771
そ の 他 経 常 費 用	4,055
経 常 利 益	11,094
特 別 利 益	0
特 別 損 失	487
税 引 前 当 期 純 利 益	10,607
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4,482
法 人 税 等 調 整 額	△136
法 人 税 等 合 計	4,346
当 期 純 利 益	6,261

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(ご参考)

第110期末(平成25年3月31日現在)信託財産残高表

(単位:百万円)

資 産	金 額	負 債	金 額
現金預け金	14	金 銭 信 託	14
合 計	14	合 計	14

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 共同信託他社管理財産の取扱いはありません。
3. 元本補填契約のある信託の取扱いはありません。

平成25年3月期 決算のご報告(連結情報)

第110期末(平成25年3月31日現在)連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目 (資産の部)	金 額	科 目 (負債の部)	金 額
現金預け金	455,684	預 金	4,068,077
コールローン及び買入手形	325,783	譲 渡 性 預 金	366,508
買入金銭債権	6,110	借 用 金	31,460
商品有価証券	780	外 国 為 替	193
金銭の信託	30,825	そ の 他 負 債	15,940
有 価 証 券	1,341,651	退職給付引当金	10,984
貸 出 金	2,466,952	役員退職慰労引当金	453
外 国 為 替	1,440	睡眠預金払戻損失引当金	353
そ の 他 資 産	9,321	偶発損失引当金	259
有形固定資産	36,215	ポイント引当金	95
無形固定資産	2,971	再評価に係る繰延税金負債	3,698
繰延税金資産	4,342	支 払 承 諾	5,048
支払承諾見返	5,048	負債の部合計	4,503,072
貸倒引当金	△19,781	(純資産の部)	
		資 本 金	23,519
		資 本 剰 余 金	13,653
		利 益 剰 余 金	108,443
		自 己 株 式	△190
		株 主 資 本 合 計	145,425
		その他有価証券評価差額金	17,965
		土地再評価差額金	664
		その他の包括利益累計額合計	18,629
		少 数 株 主 持 分	217
		純資産の部合計	164,272
資産の部合計	4,667,345	負債及び純資産の部合計	4,667,345

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第110期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	60,998
資 金 運 用 収 益	42,329
(うち貸出金利息)	(32,676)
(うち有価証券利息配当金)	(9,304)
信 託 報 酬	0
役 務 取 引 等 収 益	11,020
そ の 他 業 務 収 益	5,028
そ の 他 経 常 収 益	2,619
経 常 費 用	49,774
資 金 調 達 費 用	2,375
(うち預金利息)	(1,771)
役 務 取 引 等 費 用	5,395
そ の 他 業 務 費 用	1,145
営 業 経 費	36,800
そ の 他 経 常 費 用	4,057
経 常 利 益	11,224
特 別 利 益	0
特 別 損 失	487
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	10,737
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4,491
法 人 税 等 調 整 額	△139
法 人 税 等 合 計	4,352
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	6,385
少 数 株 主 利 益	6
当 期 純 利 益	6,378

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【経常収益】

企業の売上高と同様に、貸出金利息や各種手数料等の収益を表します。

【経常費用】

企業の売上原価と同様に、預金利息や営業経費等の費用を表します。

【経常利益】

経常収益から経常費用を控除したものです。

【当期純利益】

経常利益に、特別損益や法人税等を加減して算出し、当期中の利益を表します。

子会社・子法人等

会社名	主要業務内容	区分
株式会社とうほうスマイル	帳票等の印刷・製本業務	子会社
東邦情報システム株式会社	電子計算機ソフトウェア開発業務	子法人等

関連法人等

会社名	主要業務内容
東邦リース株式会社	リース業務
東邦コンピューターサービス株式会社	電子計算機による計算業務
東邦信用保証株式会社	信用保証業務
株式会社東邦カード	クレジットカード業務および信用保証業務
株式会社東邦クレジットサービス	クレジットカード業務および信用保証業務

店舗ネットワークのご案内

(平成25年6月現在)



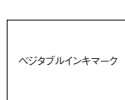
▶ 各支店の地図をホームページでご覧いただけます。

東邦銀行ホームページ

<http://www.tohobank.co.jp/>

平成25年6月発行 東邦銀行総合企画部 広報・社会貢献室
〒960-8633 福島市大町3番25号 電話(024)523-3131

本誌には
FSC認証用紙を
使用し、
植物油インキで
印刷しています。



「八山田支店」の開設

お客様により身近で一層便利にご利用いただけるよう、平成24年11月に郡山市雷田町に「八山田支店」を新設いたしました。



「矢吹支店」の新築移転

矢吹支店は、震災の影響により仮店舗で営業を行っていましたが、平成25年3月矢吹町八幡町に店舗を新築移転いたしました。

